

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き (2023年6月調査)

1. 業況判断

6月調査では、製造業、非製造業ともに悪化し、全産業では▲7と前回調査から▲8ポイント悪化した。前回調査では悪化、水準は▲9を予測していた。

製造業 . . . 電気機械が改善したものの、化学、はん用・生産用・業務用機械が悪化したため、全体では▲12と前回調査から▲5ポイントの悪化となった。前回調査では悪化、水準は▲16を予測していた。

非製造業 . . . 卸・小売、運輸・郵便、宿泊・飲食・対個人サービスなどが悪化したため、全体では▲2と前回調査から▲10ポイントの悪化となった。前回調査では悪化、水準は▲2を予測していた。

先行き (2023年9月予測)は、製造業、非製造業ともに改善するため、全産業では▲4と3ポイントの改善を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2022年度 (実績)は、非製造業は前年度比▲0.1%の減収となったものの、製造業は同3.5%の増収となったため、全産業では同1.8%の増収となった。

前回調査との比較では、製造業 (修正率▲0.3%)、非製造業 (同0.4%) とも小幅な修正に止まり、全産業では横ばい (0.0%) となった。

2023年度 (計画)は、製造業、非製造業とも前年度比4.6%の増収となり、全産業では同4.6%の増収計画。

前回調査との比較では、製造業 (修正率1.5%)、非製造業 (同1.1%) とも上方修正され、全産業では1.3%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2022年度(実績)は、製造業は前年度比▲16.0%の減益、非製造業は同▲8.5%の減益となり、全産業では同▲14.1%の減益となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率9.9%)、非製造業(同6.2%)とも上方修正され、全産業では8.9%の上方修正となった。

2023年度(計画)は、製造業は前年度比11.3%の増益、非製造業は同6.4%の増益となり、全産業では同10.0%の増益計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率16.9%)、非製造業(同8.7%)とも上方修正され、全産業では14.7%の上方修正となった。

3. 設備投資額(含む土地投資額)

2022年度(実績)は、製造業は前年度比100.8%の増加となったものの、非製造業は同▲61.2%の減少となったため、全産業では同▲16.9%の減少となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率1.1%)、非製造業(同1.1%)とも上方修正され、全産業では1.1%の上方修正となった。

2023年度(計画)は、非製造業は前年度比18.6%の増加となるものの、製造業は同▲25.1%の減少となるため、全産業では同▲10.3%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率1.8%)、非製造業(同3.7%)とも上方修正され、全産業では2.7%の上方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業は「不足」超幅が縮小、非製造業は「不足」超幅が拡大し、全産業では「不足」超▲31と前回調査から「不足」超幅が3ポイント縮小した。先行き(2023年9月予測)は、製造業、非製造業ともに「不足」超幅の拡大を予測。

新卒採用計画(全産業)・・・ 2023年度は、前回調査(2022年12月調査)から下方修正(修正率▲1.6%)され、前年度を下回る計画(前年度比▲2.6%)。

2024年度は、前年度を上回る計画(同16.9%)。

以上